

# 基本目標 1



## ＝基本的方向性＝

本市の特徴的な産業である農業の振興とともに、新規企業の誘致・育成等により、多様な産業の振興を図る。  
これにより、経済活動の活性化を進め、市民の雇用の場を創出する。

①

## ＝取組の評価（R4）及び今後の方針＝

地域経済の活性化を目指す取組として、工業団地の整備を進めてきた。南河田工業団地では、令和4年度には5区画全てで企業が操業を開始し、税収増加も期待できる。また、新たに市南部に位置する弥富インター北西部の工業団地造成計画は、更なる地域経済の発展に寄与する取組として推進していく。一方で、市内における新規雇用機会の創出という点では、企業誘致の取組だけでは増加に繋げることが難しい現状がある。

商工会が主催するビジネスマッチングの多くの企業等への参加などでの参加企業の商品PRの取組促進は、異業種企業との橋渡しに繋がり市内産業の活性化に寄与できたと見られる。今後も商工会や関係機関と連携により地域産業の活性化を図っていく。

③

市内産業振興のため、中小企業者に対する支援について補助制度を整え、PRしている。

地域経済の担い手不足は、少子高齢化が進む中で深刻化している。女性の労働力率は伸びているが、引き続き子育てなどを理由に離職し、再就職に不安を抱える女性のための就職サポートとして無料相談の実施や将来の担い手となる大学生と高校生に向けた職場体験等を通して、働きたいと希望を持つ人が地域で活躍できる環境を整備していく必要がある。

### ●基本目標における数値及び常用業績評価指標（KPI）

指標					主な取組事項
新規就農者数（親元就農含む）					農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な力強い農業の実現に向け、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、補助事業を行う。
総合戦略	H30年度	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	
②		47人（累計値）	47人（累計値）	49人（累計値）	
				R7年度（目標値）	48人（累計値）

指標					主な取組事項
事業所従業者数					工業団地地区計画区域内への企業立地の推進を目的に、事業所を新設する企業に対し、奨励金制度の具体的な説明を実施した。また、ビジネスマッチングを開催し、異業種同士の橋渡しをすることで、取引先などの新規開拓や新事業進出により市内事業者の取引増加や市内産業の活性化につなげた。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
17,391人（H28年度）	17,391人（H28年度）	17,704人（R3年度）	17,704人（R3年度）	18,000人	

## 施策1-1 新規企業の誘致・ 新サービスの育成

④

- ・誘致計画の検討・工業団地造成
- ・工業団地事業所新設企業の奨励
- ・展示会等参加による企業誘致活動
- ・起業、第二創業に対する支援

## ＝取組事項（R4）＝

●南河田工業団地においては、全区画（5区画）が稼働している。更なる地域経済の活性化を図るため、新たに市南部の弥富インター北西部において工業団地造成の計画を進めていく。

●市民の雇用機会の創出を目的として奨励措置（建物賃借型雇用促進奨励金）を整備している。

●展示会等参加回数（R元年度からの累積）

【R3】20回【R4】22回

●第二創業者に対し経営課題解決の提案を行った。

経営課題支援件数

【R3】31件【R4】34件

⑤

指標				
工業団地に立地する企業数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
0企業	2企業（累計値）	2企業（累計値）	5企業（累計値）	5企業（累計値）

指標				
工業団地内新規企業における新規地元雇用者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
0人	3人（累計値）	4人（累計値）	7人（累計値）	120人（累計値）